



～ 自他共栄 ～ No.3

2025年8月6日
発行責任者 根岸大智
編集責任者 情宣部

戦後80年 平和について考えよう ～ 原爆が落とされた日 ～

1945年8月6日、広島市の市街地に原子力爆弾が投下され、その3日後、長崎にも原子力爆弾が投下されました。

第二次世界大戦での死者数が世界で約5,500万人～8,500万人と言われており、軍人の死者数よりも民間人の犠牲者が多く出ました。戦争は民間人への被害だけでなく、当たり前だった生活環境さえ奪い去ってしまいます。

毎年追悼式典など開催されますが、今年は戦後80年を迎え、当時の状況など体験談を話せる人は少なくなってきました。

「戦争は何も生まれず、すべてを奪い去る」という事を知らない世代も増えてきています。

「南シフトを理由としたミサイル基地の建設」「日米地位協定」「日米安保条約」

「食料供給困難事態対策法」など、戦争が出来る体制づくりが進められ、戦前回帰と捉えられる動きがあります。参議院選挙結果により、改憲に向けた動きが活発化することが予想されます。憲法改正の国民投票が行なわれる際には「反対に○(マル)」を書けるよう取り組みを作っていきましょう！



**平和に対する、集会等の取り組みを通じて
平和を希求する仲間の輪を広げ
「明るく・楽しく・元気よく」運動をつくり出そう！**